

令和7年度 教育保育活動等に対する施設評価書
(自己評価・施設関係者評価書)

学校法人 彩葉学園
認定こども園 呉中央幼稚園

1. 呉中央幼稚園の教育目標

・思いやりのある子 ・友だちと助けあう子 ・最後までやりぬく子

2. 今年度の重点目標

- ① 3年目を迎える“ヨコミネ式教育”を充実させるため、園内外の研修会に積極的に参加し理解を深め、当園の教育方針に合ったやり方を模索しながら子ども達の成長につなげていく。
- ② 園内研修に力を入れ、各クラスや園児の状況を共有しながら教育保育に当たる。また、相談や助言等しあいながら教育の質の向上を図る。
- ③ 英語教育を今年度から“ベネッセ”に変更する。今までの経験を生かし「英語を楽しむ」「英語を好きになる」「英語で簡単な日常会話ができる」ことを目的として、英語保育に取り組む。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

結果の表示方法 A. 達成されている B. ほぼ達成されている C. 取り組まれているが成果が十分に出ない D. 取り組みが不十分

	評価項目	結果	理 由	施設関係者 評 価
1	保育の計画性	A	年間計画に沿って保育できるよう、職員間の連携を心がけた。また発達段階に沿った保育内容を考え、子ども達の興味関心に合わせた保育展開を心がけた。 ヨコミネ式教育を取り入れ3年目。2年間の経験を生かしながら見通しを持って進めることができた。	A
2	保育のあり方・ 園児への対応	A	園児一人ひとりを大切にし、声にならない思いをくみ取る関わりを心掛けた。 また、クラスに関係なく全園児の理解に努め、子どもたちの小さな変化やサインも保育教諭間で出来るだけ伝え合っている。当園の園児への対応の1つの強みである。	A
3	保育教諭としての 資質、能力、良識、 適正	A	昨年度に続き、今年度も主幹以外の全ての教諭を担任としたことで若手教諭の活躍の場が広がり、経験と学びを重ねた。その結果、教育と保育の質の向上につながる1年になったと思う。	A
4	保護者への対応	B	園のインスタグラムを活用し、保育や子ども達の様子をリアルタイムで保護者や外部に広く伝えるよう努めた。 また保護者と、園と家庭での様子を伝え合うことで、共通理解を深めることにつなげている。しかし、園バス通園や預かり保育を利用する保護者とはコミュニケーションがとりにくいので、積極的に関わるよう心掛ける。	B
5	地域の自然や 社会との関わり	A	春秋の遠足や園周りの秋探しに出かけた。今年度は気候の良い時期に近くの公園に出かけ、地域の自然に触れる機会を増やした。	A

			また、地域の民生児童委員さんと防災ダックを行い、警察と連携して交通安全教室を開いた。 年長児は郵便局見学や広温水プールで水遊びをして、地域社会との関わりを深めた。	
6	研修と研究	B	今年度も園内外の研修に積極的に参加し、新たな学びを教育に生かした。 しかし、園内研修の回数は昨年度より少なかった。	A

4. 今年度の総合結果

今年度も保護者の皆様と地域の方々のご協力の下、安定した教育と保育、園運営を行うことができ、大変ありがたかった。

ヨコミネ式教育は、年少から続けてきた子どもたちが初めて卒園を迎えるが、おゆうぎ会等の行事で3年の成果をしっかりと見せてくれた。当園の教育方針に沿ったやり方を模索しながら皆で進めたことが結果につながっていると、教諭の自信につながった。

今年度も主幹以外の全員をクラス担任とした。若手教諭が経験と学びを重ね、個性が発揮できたことは園の財産となっている。

また、課題であった園内研修は昨年度より回数が少なかった。これは、教諭が経験を重ねたことで不安に思うことが減ったことも要因の1つだと思う。来年度は新任教諭を迎えることもあり、園内研修に力を入れ保育の質の向上につなげていきたい。

英語教育は今年度からベネッセに変更した。少人数クラスと分かりやすい教材で、子どもたちも楽しみながら英語に親しんでおり、当園の目標に合っている。英語講師のスキルアップにもつながり、変更して良かった。

4月には新園舎が完成する。子どもたちがより広がりを持った園生活を送れるようになることが楽しみだ。

これからも教職員が力を合わせ、子どもたちの育ちの場である園を守っていきたい。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
4. 保護者への対応	- 保護者とのコミュニケーションを大切に、園と保護者が協働して子どもたちの育ちにつなげる。 - 初めて入園された保護者に、行事のお願い等を分かりやすく伝えていく。
6. 研修と研究	新任教諭を迎えることもあり、園内研修に力を入れる。保育の振り返りと子どもの様子を伝え合う機会を増やすことで、教育、保育をさらにレベルアップし、子ども達の成長につなげていく。

6. 施設関係者評価委員からのコメント

「〇〇教育」というものは、アピールのために指導が強すぎたりするものですが、こちらでは子どもたちが喜んで取り組んでいる様子が見えています。子どもに無理のない取り入れ方をされていて有り難いです。

また、英語教育のベネッセへの変更も、良い結果になって安心しました。従来の方法を変化させるのは勇気がいりますが、子どもたちの力になる変更、何よりです。

クラス担任が2人体制で学び合っているのは、うらやまし限りです。日々が研修になっているのでしょうか。研修回数は問題ではないと思います。

もうすぐ卒園を迎える子どもたち。入園したころを振り返ると、体も心も大きくなったと感慨深いです。こちらでみんなで成長させていただけたと、有り難く思っています。

これからも高い目標をもって教育してくださいね。期待しています。